

# Ⅳ 植物園の概要

## 1 沿革

- 昭和31～32年 牧野富太郎博士の偉業を顕彰するため、牧野植物園記念館設立期成会によって施設建設が計画され、県・高知市の補助、土佐電気鉄道(株)、高知県交通(株)の寄付金により温室、記念館を建設。
- 33年4月 施設の寄付を受け、高知県立牧野植物園として発足
- 35年11月 牧野蔵書の寄付受納(42,000点)
- 12月 造園用地の購入(結網山 4,006m<sup>2</sup>)
- 36年3月 牧野文庫建設用地の購入(3,487m<sup>2</sup>)
- 38年3月 牧野文庫の建築
- 40年10月 蛇紋岩園地の造成(500m<sup>2</sup>)
- 41年12月 石灰岩園地の造成(1,200m<sup>2</sup>)
- 43年3月 造園用地の購入(1,507m<sup>2</sup>)
- 4月 平田茂留氏から化石の寄付受納(12,000点)
- 8月 造園用地の購入(2,409m<sup>2</sup>)
- 44年2月 温室、栽培室、ボイラー室、切符売場の改築
- 3月 化石館の建築
- 45年3月 造園用地の購入(6,009m<sup>2</sup>)
- 46年3月 文庫の増改築(事務室、展示室、標本室、応接室)
- 48年1月 ロックガーデンの造成(蛇紋岩、石灰岩、チャート、軽石)
- 2月 造園用地の購入(1,244m<sup>2</sup>)
- 49年11月 牧野博士の銅像建立(銅像を作る会が広く募金を行い、本郷新氏の制作による銅像を寄付受納)
- 50年10月 歌碑等の建立(銅像を作る会から博士の頭像、歌碑4基、標石2基を寄付受納)
- 53年5月 昭和天皇行幸
- 12月 矢野文庫の寄付受納(富士エックスレイ k.k.取締役佐藤忠夫氏から植物学専門図書を受納)
- 54年3月 牧野文庫蔵書目録「洋書の部」の作成、化石目録の作成
- 5月 御製碑の建立「さまざまの 草木をみつつあゆみきて 牧野の銅像の前に立ちたり」
- 6月 少年広場の造成(あずまや、藤棚を設置)
- 57年12月 牧野博士の少年像建立(彼末明三氏から寄付受納)
- 58年3月 牧野文庫蔵書目録「邦文図書の部」の作成
- 61年3月 牧野文庫蔵書目録「和書・漢籍の部」の作成
- 62年3月 牧野植物学学習館の建築
- 10月 牧野文庫蔵書目録「雑誌・論文抜粋の部」の作成
- 11月 南国市領石で発見された約1億3千万年前の植物化石を収納
- 平成5年度 牧野植物園整備検討委員会を設置し、牧野植物園再整備についての基本構想、基

- 本計画を策定
- 平成6年度 牧野博士記念館(仮称)の基本設計に着手
  - 7年度 用地買収、記念館の実施設計、展示基本・実施設計等に着手
  - 8年度 敷地の造成工事、建築主体工事および各種設備工事に着手
  - 9年度 展示工事、周辺園地の造園工事、情報システムの整備に着手
  - 10年度 駐車場植栽工事、園地道路整備工事に着手
  - 11年3月 財団法人高知県牧野記念財団設立
  - 4月 牧野植物園の管理運営を財団法人高知県牧野記念財団に委託
  - 11月 牧野富太郎記念館開館
  - 14年10月 天皇・皇后両陛下下行幸啓・桂宮殿下お成り
  - 15年7月 牧野植物園第Ⅱ期整備事業基本設計に着手
  - 10月 文部科学省科学研究費補助金取扱規程による「研究機関」として指定
  - 16年4月 資源植物研究センター開所
  - 7月 博物館法の規定による「博物館相当施設」として指定
  - 17年6月 独立行政法人国際協力機構の受託によるミャンマー草の根技術協力事業開始
  - 9月 高円宮妃殿下お成り
  - 18年4月 牧野植物園の指定管理者に高知県が財団法人高知県牧野記念財団を指定
  - 9月 土佐寒蘭センターの機能を牧野植物園に移管
  - 19年4月 土佐寒蘭センター竣工
  - 6月 ソロモン諸島と薬用植物調査研究協定締結
  - 8月 リニューアルオープンから入園者100万人達成
  - 20年5月 高円宮妃殿下お成り
  - 10月 花・人・土佐であい博 秋の特別イベントとして「花遊山～秋の庭と矢野 TEA の世界」を開催
  - 21年3月 南園大温室の平成21年度建て替えが決定  
『高知県植物誌』完成  
平成20年度入園者数20万人達成
  - 5月 南園大温室建て替え工事着工
  - 11月 リニューアルオープン10周年
  - 12月 ソロモン諸島と共同研究協定更新
  - 22年3月 南園大温室竣工
  - 23年1月 独立行政法人国際協力機構の受託によるミャンマー草の根技術協力事業(地域提案型)の継続決定
  - 3月 志国高知 龍馬ふるさと博の花の会場として「五台山花絵巻 弐の巻～和蘭(オランダ)の春～」を開催
  - 24年3月 「五台山花絵巻 参の巻 ～春の彩り・花皿鉢～」を開催
  - 24年4月 財団法人高知県牧野記念財団が公益財団法人に移行  
牧野富太郎博士生誕150年記念式典を開催
  - 6月 ソロモン諸島植物誌計画3カ国間協定締結
  - 25年3月 「五台山花絵巻 四ノ巻 土佐國の春」を開催

- ミャンマー植物多様性調査国際共同体 発足
- ミャンマー環境保全・林業省森林局との2機関協力研究協定締結
- 9月 ハワイアンフラワーフェスティバル開催
- 26年1月 高知県より委託され管理しているミクロネシアのパンノキが、友好の証としてミクロネシア連邦から高知県に正式に贈呈される
- 3月 「五台山花絵巻 五ノ巻 ～伝統の美 和花の世界～」開催
- 10月 竹林寺「秘仏本尊文殊大菩薩 平成の御開帳」に合わせて、秋にも「五台山花絵巻」を開催
- 27年3月 「スプリングフラワーフェスタ 春のよろこび」開催  
ヤマザクラ‘センダイヤ’を中心とした夜桜をライトアップした「桜の宵」を初開催
- 8月 企画展「恐竜時代の植物たち」開催
- 28年3月 平成28年春のキャンペーン企画「ドラマティック・マキノ」開催
- 4月 牧野富太郎生誕記念「マキノの日」開催
- 7月 ショクダイオオコンニャク初開花

## 2 組織

### 2-1 高知県立牧野植物園機構・体制表

H28.4.1 現在

